令和２年５月２９日

令和２年度第２クォーターの授業実施に係る基本方針について

香川大学長

新型コロナウイルス感染拡大のリスクを低減させながら教育活動を継続するため、令和２年度第２クォーター（６月１８日～８月５日）の授業等の実施については、以下の基本方針を取ることといたします。

なお、第１クォーター期間中の試験は、対面型の試験を行わず、レポート等による成績評価を行います。

●基本方針

1. 講義科目は、引き続きオンライン等による遠隔講義とし、自宅にて受講するものとする。
   授業に関する連絡は、授業科目ごとに教務システム（ドリームキャンパス、WebClass）を用いて行う。

2. 実験・実習科目等（注１）は、３密を避ける等、感染防止対策（注２）を徹底したうえで、実施の必要度の高いものから対面型授業を開始する。

3. 遠隔講義（ライブ配信または講義収録）を教室から行う場合は、入室制限等一定条件下のもと、授業担当教員が学生の入室を許可することができる。

4. 前期（第２クォーター）の試験は、３密を避ける等、感染防止対策を徹底し、可能な範囲で対面型の試験を実施する。

5. 授業回数の不足等により授業の目標達成が困難な場合は、８月６日以降に補講等を実施することができる。

6. 感染状況等が変化した際には、本方針を変更する場合がある。

（注１）
「実験・実習科目等」とは、次の授業科目とする。
・実験・実習科目
・実技系科目（体育・音楽・芸術等）
・演習ゼミ、卒業研究等
・講義科目のうち、一部実験・実習等が含まれる場合は当該授業回

なお、少人数で行われる講義（大学院科目等）の中で、授業を開設する部局長・研究科長が特に認めるものは、上記「実験・実習科目等」に準じた取り扱いとすることができる。
また、大学入門ゼミ・語学は、講義科目に含めるものとする。

（注２）
「感染防止対策」新型コロナウイルス感染拡大のリスクを低減させるため、以下の対策を講じるものとする。

1　実験・実習科目等の実施方法等について
・密閉・密集・密接を避ける等の工夫を行う。
・可能な限り対面する時間・回数を減らして実施する。
・近距離での対面形式となるグループワークや作業は避ける。
・体育では、密集する運動や近距離で組み合ったりする運動等を避け、可能な限り屋外で実施する。
・音楽では、室内における合唱や管楽器演奏を避ける。

2　授業環境等について
・発熱、体調不良の者は参加させないこと。
・原則として教員・学生共にマスク着用とする。（運動を伴うものは不要）
・室内の換気を十分に行うこと。
・手洗い、消毒を励行すること。

3　学外実習について
・学外実習等は、実習先と調整の上、可能な範囲で実施する。
・県外への移動を伴う実習等は最新の国及び県の方針を踏まえて実施を判断する。